

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	リーディング1
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（キーボード）	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	金澤法皇		実務経験の有無・職種	有 音楽講師、鍵盤講師、鍵盤奏者	
学習目的					
この科目を受講する学生は、鍵盤楽器におけるあらゆる基礎となる知識、奏法について学び、プロとして必要な演奏技術と、プロとして最低限の読譜力を養うのが目的です。と同時に、音楽においてだけでなく、実社会において全ての事象には学ぶことや、考えること、思考の必要性の重視も説いていく事を目的とします。					
到達目標					
この科目では、学生が鍵盤楽器の奏法を基礎から学び、プロとして必要な技術、曲つくりへの発展、様々なジャンルへのアレンジにおいて必要な技術などを教室で各々のキーボードを使って学び実践して行く事を目標とします。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、鍵盤楽器を使って様々な音楽的素養と、演奏における技術、そして特に必要な読譜力を養うのが主な目的であり、それに伴い、作曲、アレンジ力を養うための技術も身につける。教室には各個人に1台のキーボードを用意し、実施する。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	実践形式での授業内で理解度を把握するので、実施しない。		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するためにたまに実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	楽曲ごとの読譜1		様々なジャンルの曲の基礎的な読譜の解説		
2回	楽曲ごとの読譜2		様々なジャンルの曲の読譜、ポップス、ロック中心		
3回	楽曲ごとの読譜3		様々なジャンルの曲の読譜、ソウル、R&B、ジャズ中心		
4回	7thコードのテンション1		7thコードのテンションの基礎解説		
5回	7thコードのテンション2		課題曲を使用して7thコードのテンションの実践、初見		
6回	テンションコード1		テンションコードの基礎解説		
7回	テンションコード2		課題曲を使用してテンションコードの実践、初見		
8回	楽曲ごとのテンションの使い分け1		様々なジャンルごとでのテンションコードの使い分け、ポップス、ロック中心		
9回	楽曲ごとのテンションの使い分け2		様々なジャンルごとでのテンションコードの使い分け、ソウル、R&B、ジャズ中心		
10回	ポピュラー音楽でのテンション感		主に洋楽と邦楽のリーディング的思考の相違と、テンション感の使い分け		
11回	ジャズ、R&B1		ジャジーなサウンドの楽曲のコード分析 譜面使用して実践的に行う		
12回	ジャズ、R&B2		課題曲を使用してジャジーなサウンドの楽曲のコード分析と初見		
13回	テンションコードの初見1		その他の楽器とアンサンブルしながら実際の現場に近い形での初見演奏		
14回	テンションコードの初見2		テンションコード全般の実演の総復習		
15回	まとめ		他楽器とアンサンブルにて総復習		